

第 41 回大分 NST 研究会報告

2026 年 2 月 21 日、大分県労働福祉会館ソレイユ 7F カトレアにて第 41 回大分 NST 研究会を開催いたしました。テーマを「嚥下」とし、合計 184 名の方にご参加いただきました。

一般演題では津久見市医師会立津久見中央病院副院長の葛城 功先生、同病院栄養科長の樋口 愛美先生に座長の労をいただき、6 題発表がありました。演者の先生方の施設での事例や活動の紹介があり、有意義な議論ができました。

①嚥下機能が低下した方への固形化 ONS の活用

医療法人輝彩ヒカリノ診療所 管理栄養士 廣瀬 明子先生

②経口摂取へ向けた摂食・嚥下障害認定看護師としての関わり

別府リハビリテーションセンター 看護師 時松 沙弥香先生

③サルコペニアの嚥下障害が疑われた症例に対し

VF での評価をもとに完全側臥位での経口摂取を図った 1 例

社会医療法人溪和海大分岡病院 歯科医師 大田 奈央先生

④摂食嚥下領域における急性期病院と他職種交流会の取り組み報告

別府リハビリテーションセンター 理学療法士 渡邊 唯我先生

⑤誤嚥性肺炎入院患者の栄養管理～現状と課題～

中津市立中津市民病院 管理栄養士 末永 朋子

⑥地域への食支援の取り組みと課題

新別府病院 看護師 濱田 智恵美先生

基調講演は医療法人畏敬会井野辺病院院長 井野邊 純一先生に「フレイルとリハビリテーション」の題名でご講演いただきました。フレイルの対策についての取り組みをご紹介いただき、要介護予防のために大切なことを学ぶことができました。

特別講演は浜松市リハビリテーション病院特別顧問 藤島 一郎先生に「最新の嚥下障害のリハビリテーション～サルコペニア・フレイルも含めて～」の題名でご講演いただきました。先生が日々臨床で取り組み、開発されてきた新しい訓練法や手技について、事例を交えて詳しくご紹介いただき、日常業務に生きる知識を得られました。

座長の労をいただいた先生方、演題とご講演いただいた先生方に深く感謝申し上げます。また、共催である株式会社大給には多大なるご支援を賜り、無事に会を終える事ができました。深く感謝申し上げます。

第41回大分NST研究会当番世話人
医療法人畏敬会井野辺病院 佐々木 雄基
後藤 優実



座長 葛城 功先生 樋口 愛美先生



廣瀬 明子先生



時松 沙弥香先生



大田 奈央先生



渡邊 唯我先生



末永 朋子先生



濱田 智恵美先生



講師・座長の先生方と研究会運営スタッフ



基調講演 「フレイルとリハビリテーション」
井野辺病院院長 井野邊 純一先生



基調講演座長
井野辺病院副院長 石松 俊之先生



特別講演 「最新の下嚥障害のリハビリテーション
～サルコペニア、フレイルも含めて」
浜松市リハビリテーション病院
特別顧問 藤島 一郎先生



特別講演座長
井野辺病院 佐々木 雄基先生